



グスクとその時代

琉球列島には300ほどのグスクがあり大きさや形も様々です。遺跡の模型や出土した物を観察して、当時の様子を探ろう。

1. 浦上アリモリ遺跡には、座喜味城跡などのように敵の侵入を防ぐ石積みが見られません。そのかわりに周りよりも高い場所に立地し、さらにもうひとつの仕掛けがあります。それは何でしょうか。

ヒント：模型の尾根（高く連なっている部分）をよく観察しよう。

答え： _____



座喜味城跡の入口



浦上アリモリ遺跡の入口

2. グスク時代の遺跡からは、戦いに関する物が出土します。展示品の中から見つけて名前を書こう。

名前： _____

3. グスク時代の遺跡から出土した陶磁器にはどのような国のものがあるでしょうか。

国名： _____

4. 一番多いのはどの国の陶磁器ですか。多い理由も考えてみよう。

国名： _____

理由： _____



遺跡から出土した様々な陶磁器

14世紀頃の沖縄島は北山、中山、南山という3つの大きな勢力にわかれておた。三山の王は中国から冊封（中国の皇帝が使者を派遣して国王を承認すること）を受けて交易を行っていたのじゃ。三山の王はたがいに勢力を競い、佐敷の思紹、尚巴志が三山を統一して琉球王国を形成してゆくんじゃ。

首里城を居城とした琉球王国も、中国を中心にして周辺諸国を相手にさかんに交易を行っていたんじゃ。

